

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月11日(月)~7月13日(水)		
開催時間	9時~17時まで (月曜日は12時30分~17時20分 水曜日は9時から14時10分まで)		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」		
講師等の氏名等			
内容・結果等	7月11日(月) 開校式・オリエンテーション		
	講義 持続可能な福祉社会の現状と課題		
	講師 駒沢大学法学部 教授 原田 啓一郎 氏		
	講義 子育て支援と少子化対策		
	講師 子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子 氏		
	7月12日(火) 講義 介護保険と地域包括ケアにおける市町村の役割		
	講師 株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員 三原 岳 氏		
	講義 地域医療の現状と課題		
	講師 九州大学 名誉教授 尾形 裕也 氏		
	講義 生活困窮者の実態と支援策		
	講師 大阪公立大学大学院生活科学研究科 准教授 垣田 裕介 氏		
	7月13日(水) 講義 地域社会の実現に向けて		
講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一			
上記活動に要した経費		支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費	全国市町村国際文化研究所	10,850
	旅費	バス・SKYマーク・JR西日本	20,230
	宿泊費	ヴィアイン京都駅八条口	6,790
	振込料金		550
	合 計		38,420

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月11日 (月)		
開催時間	12時30分		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」		
講師等の氏名等	原田 敬一郎 駒沢大学法学部教授		
内容・結果等	1. 持続可能な福祉社会の現状と課題		
	(1) 少子高齢化・人口減少社会の意味		
	— 私たちの社会を取り巻く環境の変化えお読み解く		
	(2) 持続可能な社会保障制度と社会保障制度改革		
	— 社会保障制度改革の現在地		
	(3) 持続可能な福祉社会のこれからを考える		
	※ 詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	持続可能な福祉社会のこれからを考えると受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会福祉制度の確立を図るために、胴上げ社会から肩車社会へとなり、支え手の確保が必要であり、定年60歳ではなく65歳となり働ける人は働く社会とならざるを得なくなる現状のようである。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
合計			0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月11日 (月)		
開催時間	12時30分		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」		
講師等の氏名等	奥山千鶴子 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長		
内容・結果等	2. 子育て支援と少子化対策		
	(1)少子化、子育ての現状		
	(2)日本の子ども・子育ての支援のこれから		
	(3)少子化とあきらめる前に、すべきこと		
	※ 詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	佐賀県は出産手当が、全国ワースト1位の県で子供を産み育てる母子に対し		
	スタート時点で孤立させない体制(地域コミュニティ・子育て支援サービス等)を		
	もっともっと、強化していく必要があると強く感じた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月12日(火)		
開催時間			
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」		
講師等の氏名等	三原 岳 株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員		
内容・結果等	3. 地域社会の実現に向けて		
	(1) 地域包括ケアを再考		
	(2) 開度保険制度の現状		
	(3) 予防を中心とする最近の制度改正		
	(4) 地域の実情に応じた体制づくり		
	(5) 地方議会への期待		
	※ 詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	認知症や医療・介護連携、総合事業に関して市町村の責任と裁量が大きくなり、現状を分析し、「ありたい姿—現状＝課題」という恒等式で施策を検討する必要性があるということから、運用の確認を行い、横断的に施策を検討できる議会の強みを生かし難しい課題だが積極的に取り組んでいきたい。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
合計			0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月12日(火)				
開催時間					
開催場所	全国市町村国際文化研究所				
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団				
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」				
講師等の氏名等	尾形 裕也 九州大学名誉教授				
内容・結果等	4. 地域医療の現状と課題				
	(1)医療・介護提供体制の長期ビジョン				
	(2)医療計画の見直し				
	(3)地域医療構想の差規定及び推進				
	(4)地域医療構想に関する私見				
	(5)新たな介護保険施設の創設				
	(6)医療機関経営戦略論				
	※ 詳細は別紙のとおり				
	まとめ・感想				
	講師は強い意志で地域医療構想を推進し、病床機能区別を行ってきた。将来を見据えての改革だったと思われるが、コロナ禍に於いて急性期病棟の不足など考えると果たしてこの改革は十分だったのか疑問が残った。				
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 (円)
	会場費				
	講師謝礼				
	出席者負担金				
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
	合 計				0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月12日(火)				
開催時間					
開催場所	全国市町村国際文化研究所				
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団				
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」				
講師等の氏名等	垣田裕介 大阪公立大学大学院生活科学研究科准教授				
内容・結果等	5. 生活困窮者の実態と支援策 —社旗保障・社会福祉のあり方を考える—				
	福岡県中間市(人口約4万人)に於いて、2020年3月から2021年3月の13か月間に受け				
	付けた感染拡大の影響を受けた223世帯の全数調査。機関の相談支援記録と支援員へ				
	の複数回インタビューし独自のデータベースを作成されたものより講義をされた				
	※ 詳細は別紙のとおり				
	まとめ・感想				
	生活困難者のデータを地域数にあわせて把握され解決策をだされていた。生活困窮者				
	には伴走して、必要な制度・機関などに繋ぎ導いていかなければならないと言われた				
支援者(伴走者)の力量が問われる状況もあると思われる。しっかり体制を作り支えて					
いかないと実施が難しいと思った。					
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 (円)
	会場費				
	講師謝礼				
	出席者負担金				
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
合 計				0	

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 古川 英子

開催月日	令和4年7月13日(水)				
開催時間					
開催場所	全国市町村国際文化研究所				
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団				
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「社会保障・社会福祉」				
講師等の氏名等	古都 賢一 社会福祉法人全国社旗福祉協議会副会長				
内容・結果等	6. 地域共生社会の実現に向けて				
	(1)新型コロナ禍で見えてきた社会課題				
	(2)2040年問題と地域生活課題の多様化・複雑化				
	(3)地域生活課題の解決をめざす社会目標				
	(4)これからの福祉関係者の進む方向				
	(5)地方自治体の役割を考える				
	(6)地域生活課題の解決に必須の「協働」 ※ 詳細は別紙のとおり				
	まとめ・感想				
	グループワーク後、法律ではいけない事以外は実施可能であり、やりたいと手を挙げる人に対してはサポートし、地域で生じる多様な地域生活課題への対処には制度を超えた新しい視点と行動が必要になってくるということと「まず、やってみなさい」という言葉が心に残った。一步踏み出さないと何も始まらないその通りであると思う。				
	上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先
会場費					
講師謝礼					
出席者負担金					
会費					
旅費					
宿泊費					
合 計					0